

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	交通安全施設の整備				予算施策コード	db12	
担当部局名	土木部	道路都市局	道路維持課	評価責任者	課長 近藤 俊恒	連絡先	2720

1 施策の内容

施策の目標	交通事故対策が緊急に必要な通学路等における道路利用者が安全に移動できる歩道等の整備を推進する。
これまでの取組み	<p>交通量が多く、通学児童等が危険な状況にある通学路や交通事故が多発している箇所等において、歩行者及び自転車の安全確保や事故の抑止を図るため、歩道・自転車歩行車道の整備、交差点改良、事故抑止対策等を推進しているほか、防護柵や道路照明灯、区画線、道路反射鏡等の交通安全施設の整備を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年に第2次社会資本整備重点計画(21.3.31閣議決定)に即して、特定交通安全整備事業実施計画を作成 平成22年に社会資本総合整備計画「ひとにやさしく、みんなが安全に移動できるみちづくり」等を作成 平成24年度から、道路管理者と警察、学校関係者等が通学路の合同点検を実施し、危険箇所の解消に向け、重点的に交通安全対策を実施 平成26年度から、県全域で取り組む、自転車が安全で快適に走行できる自転車利用環境づくりを実施 平成29年度から、市町が策定した自転車ネットワーク計画に基づき、市街地の自転車走行環境整備を実施 令和元年度に未就学児等の子供が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を実施し、危険箇所の安全対策を実施 令和3年6月28日、千葉県八街市の通学路において発生した交通事故を受けて、通学路合同点検を行い、対策必要箇所における交通安全対策を実施

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	市街地における歩道等整備率				B	県管理道路における交通事故発生件数(暦年)					
選択理由	交通事故対策として、自動車・自転車・歩行者交通量の多い市街地において、重点的に歩道等の整備を実施しているため				選択理由	歩道等の整備により、交通事故の抑止が図られているため					
算定方法	市街地において歩道等が整備された道路延長/市街地の道路延長				算定方法	県管理道路における1年間の交通事故件数					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%			件			千円					
元年度	75	75	100.0%	990	825	120.0%	2,145,535	893,319	921	1,251,295		105,495
2年度	75	75	100.0%	825	703	117.4%	2,172,036	1,089,475	921	1,081,640	2,149,493	133,970
3年度	76	75	98.7%	703	645	109.0%	2,016,220	848,358	921	1,166,941	1,998,484	115,555
4年度 目標値	76			645			2,821,603	1,200,573	921	1,620,109		
最終目標	-			-								

4年度当初予算

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	事業内容は、歩道等の整備であり、道路管理者である県の責務として実施する必要がある。				
高い							
成果指標A		説明	成果指標Aは、集計が完了した前々年度末時点データ(それ以降は推計)により、評価している。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	成果指標Bは、1年間に発生した交通事故発生件数(暦年)で評価しており、発生件数が前年度を下回るよう対策を実施している。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.38	順調・向上	成果向上余地	1.75	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	県管理道路における交通事故発生件数は平成29年度以降減少している一方、死者数は前年と比べほぼ横這いとなっている。また、全事故における高齢者の事故発生率や死者数の割合は増加しており、今後、ますますの高齢化社会を迎えるにあたり、この傾向がづくことが予測される。					
-------------	--	--	--	--	--	--

3 施策の今後の方向性

<p>平成24年4月に集団登校中の児童の列に自動車が入り込む事故が多発した平成24年度及び5年経過した後となる平成29年度に実施した通学路の緊急合同点検結果や、令和元年5月の滋賀県大津市の園児死傷事故を受け実施した未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検結果、さらに、令和3年6月28日、千葉県八街市の通学路において発生した交通事故を受けて行った通学路合同点検結果に基づき、歩道整備や路肩拡幅、防護柵の設置など危険箇所の対策を実施しているところである。</p> <p>また、各市町が策定する自転車ネットワーク計画に基づき、目的地まで安心して到達できる自転車の走行環境整備や市街地における安全な自転車走行空間の整備を進めている。</p> <p>引き続き、国・市町や警察等関係機関と連携し、安全な歩行空間及び自転車走行空間の確保や、主要渋滞ポイントとなっている交差点の改良、事故危険箇所の対策を着実に進め、成果の向上を図るために、必要な事業費の確保を目指す。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名					db12	交通安全施設の整備						
1 交通安全施設等整備事業費										コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果 順調である	向上 余地	2一定の 成果向上 余地あり
指標種類1	指標名称1			単位	計画	75	75	76	76	最終目標	事業費計	1,648,905	1,530,674	1,395,016	2,070,516	評価						
成果	+	歩道	市街地における歩道等整備率	%	実績	75	75	75		国費	857,026	791,972	706,554	1,090,790	見直し 方向性				方向1	このまま 継続	方向2	方向3
指標種類2	指標名称2			単位	計画	990	825	703	645	その他	791,879	738,702	688,462	979,726		事業費計	1,620,149	1,530,674				
成果	-	歩道	県管理道路における交通事故発生件数(暦年)	件	実績	825	703	645		国費	842,080	791,972	706,554	1,090,790	見直し 方向性				方向1	このまま 継続	方向2	方向3
指標種類3	指標名称3			単位	計画	60	46	35	27	その他	778,069	738,702	688,462	979,726		事業費計	1,620,149	1,530,674				
活動	+	歩道	事業箇所数	箇所	実績	84	70	54		国費	842,080	791,972	706,554	1,090,790	見直し 方向性				方向1	このまま 継続	方向2	方向3
活動	+	歩道	事業箇所数	箇所	達成率	140.00%	152.17%	154.29%		県費	778,069	738,702	688,462	979,726		事業費計	1,620,149	1,530,674				
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	11.2	13.9	13.6	事業費計	1,620,149				1,530,674	1,395,016	2,070,516	
実施期間			交通事故が多発したり、交通弱者が通行したりするなど、安全かつ円滑な通行の確保が喫緊の課題となっている通学路等において、歩道・自転車歩行者道・交差点改良など交通安全施設等の整備を推進する。							人件費	76,228	94,048	82,280			事業費計	1,620,149	1,530,674				1,395,016
2 自転車走行環境整備事業費										コスト (単位：千円)					R元年度				R2年度	R3年度	R4年度	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	615	536	477	470	最終目標	事業費計	68,502	88,187	270,271	197,280	評価						
成果	-	歩道	自転車に関連する事故件数	件	実績	536	477	470		国費	36,293	46,698	141,804	109,783	見直し 方向性					方向1	このまま 継続	方向2
指標種類2	指標名称2			単位	計画	4	3	0.2	1.3	その他	32,209	41,489	128,467	87,497		事業費計	65,486	79,958	270,271			
活動	+	歩道	自転車走行環境整備延長	km	実績	6	3	0.2		国費	34,695	41,377	141,804	109,783	見直し 方向性					方向1	このまま 継続	方向2
指標種類3	指標名称3			単位	計画	3	9	3	-	その他	30,791	38,581	128,467	87,497		事業費計	65,486	79,958	270,271			
活動	+	歩道	サイクリングコース整備延長	km	実績	3	9	3		国費	34,695	41,377	141,804	109,783	事業費計					65,486	79,958	270,271
活動	+	歩道	サイクリングコース整備延長	km	達成率	100.00%	100.00%	100.00%		県費	30,791	38,581	128,467	87,497		事業費計	65,486	79,958	270,271			
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.8	0.9	2.7	事業費計	65,486					79,958	270,271	197,280
実施期間	H29		自転車新文化の第4ステージとして新たに形成するしまなみ広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ」(GSE)における自転車走行環境整備を推進するとともに、市町策定の自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間等の整備を促進する。							人件費	5,445	6,090	16,335			事業費計	65,486	79,958	270,271			
3 交通安全一環事業費										コスト (単位：千円)					R元年度					R2年度	R3年度	R4年度
指標種類1	指標名称1			単位	計画	75	75	76	76	最終目標	事業費計	14,000	14,000	14,000	14,000	評価						
成果	+	歩道	市街地における歩道等整備率	%	実績	75	75	75		国費					見直し 方向性					方向1	このまま 継続	方向2
指標種類2	指標名称2			単位	計画	990	825	703	645	その他	921	921	921	921		事業費計	10,616	12,616	12,621			
成果	-	歩道	県管理道路における交通事故発生件数(暦年)	件	実績	825	703	645		国費	698	830	830	830	見直し 方向性					方向1	このまま 継続	方向2
指標種類3	指標名称3			単位	計画	2	2	2	2	その他	9,918	11,786	11,791	11,791		事業費計	10,616	12,616	12,621			
活動	+	歩道	事業箇所数	箇所	実績	2	2	2		国費	698	830	830	830	事業費計					10,616	12,616	12,621
活動	+	歩道	事業箇所数	箇所	達成率	100.00%	100.00%	100.00%		県費	9,918	11,786	11,791	11,791		事業費計	10,616	12,616	12,621			
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.1	0.1	0.1	事業費計	10,616					12,616	12,621	12,621
実施期間			交通事故が多発している箇所、安全かつ円滑な通行を確保する必要がある箇所、バリアフリー化を推進する必要がある箇所等において、歩道、自転車歩行者道など交通安全施設を整備する。							人件費	681	677	605			事業費計	10,616	12,616	12,621			

4 交通安全二種事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	4その他		
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0	0	予算	事業費計	288,370	288,370	288,370	288,370	評価				
成果	0	70-	道路管理瑕疵による交通事故発生件数	件	実績	0	4	6	国費											
					達成率				その他											
指標種類2	指標名称2			単位	計画	288,370	288,370	288,370	288,370	決算	事業費計	288,370	288,370	288,370	288,370		見直し 方向性			
活動	0	70-	事業費	千円	実績	274,250	275,440	274,086	国費						方向1			このまま継続		
					達成率				その他						方向2					
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役 人件費	事業費計	274,250	275,440	274,086	方向3					
					実績				県費		274,250	275,440	274,086							
					達成率						2.4	2.7	2.7							
実施期間	始期	終期	事業の概要							人役	2.4	2.7	2.7							
		等定・見込 があれば配 入	交通事故が多発している道路、その他緊急に交通の安全と円滑化を図る必要がある道について、交通安全施設の整備を図る。							人件費	16,335	18,269	16,335							

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

db12

交通安全施設の整備

1	通学路事故防止緊急対策事業費	コスト (単位：千円)					コスト (単位：千円)			
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		R元年度	R2年度	R3年度	
	評価対象外の理由	事業費計	0	0	48563	251437	事業費計	0	0	46,490
	9月補正より後に新たに予算計上	国費					国費			
	評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他			
		県費			48,563	251,437	県費			46,490
							人役			
							人件費			